

令和5年度 第3学年 書写 年間指導計画

月	題材名	時数	目標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」 「道徳との関連」 等 各学校・教科で必要なもの
4月 5月	全国文字マップ	1	身の回りには文字による多様な表現があることを理解することができる。	知技(3)エ(ア)	身の回りには文字による多様な表現があることを理解している。	作品	知識・技能
				思・判・表	身の回りの文字を探す活動のなかで、多様な表現があることを確かめている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に身の回りの文字を探し、学習の見通しをもって見つけた文字による多様な表現について発表しようとしている。	作品 観察	
6月 7月	文字の使い分け	1	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。	知技(3)エ(ア)、(1)ア、A(1)オ、(2)イ	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。	作品	知識・技能
				思・判・表	目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解している。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を理解し、学習課題に沿って調べた身の回りの文字について発表しようとしている。	作品 観察	
	[コラム]UD書体って何だろう	1	見やすさや読みやすさにこだわった活字の書体を知ることで、文字文化の豊かさへの理解を深めることができる。	知技(3)エ(ア)	見やすさや読みやすさにこだわったユニバーサルデザイン書体を知り、文字文化の豊かさへの理解を深めている。	作品	知識・技能
			思・判・表	ユニバーサルデザイン書体の使用例やゴシック体との比較を通して、文字文化の豊かさを確かめている。	作品		
			主体的に学習に取り組む態度	積極的に身近なユニバーサルデザイン書体の使用例を探し、学習の見通しをもって見つけた文字について発表しようとしている。	作品 観察		
9月 ～ 12月	3年間のまとめ 芸術祭作品	2	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	知技(3)エ(ア)、(1)ア	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	作品	知識・技能
				思・判・表	毛筆で「探究」「輝ける未来」を書写するなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分で決めた課題に沿って「探究」「輝ける未来」を書こうとしている。	作品 観察	
11月	私の好きな言葉	1	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	知技(3)エ(ア)、(1)ア、B(1)ア・ウ	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	作品	知識・技能
				思・判・表	好きな言葉を書くなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分の好きな言葉を書こうとしている。	作品 観察	
12月	[国語]季節のしおり3	1	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	知技(3)ア、エ(ア)、(1)ア	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	作品	知識・技能
				思・判・表	季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。	作品 観察	
1月～ 3月	[国語]冊子に まとめよう 新春書写展作品	2	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	知技(3)エ(ア)、(1)ア	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	作品	知識・技能
				思・判・表	冊子にまとめる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして学校や部活動の魅力を伝える冊子を作ろうとしている。	作品 観察	
[発展]なりきり、書聖・王羲之	適宜		高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを知り、学習への関心を高めることができる。	知技(3)エ(ア)	高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを理解している。	作品	知識・技能 表現力
				思・判・表	「蘭亭序」をなぞる活動のなかで、これまでに学習してきた書き方との共通点や相異点について考える。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に先人の筆跡に関心をもち、学習の見通しをもって「蘭亭序」をなぞろうとしている。	作品 観察	